

キャラクター名 _____ プレイヤー名 _____

種族	ダークドワーフ	種族特徴	暗視、黒炎の遣い手		
生まれ	野伏	性別	男	年齢	18
冒険者Lv	11	経歴	旅をしたことがなかった 始まりの剣を求めていた		
経験点	3290		大きな嘘をついていた		

		能力値	A-F	成長	他修正	能力値	ボーナス
技	9	器用度	16	8		33 + 1	5
		敏捷度	3	3		15	2
体	10	筋力	11	17		38	6
		生命力	5	7		22	3
心	7	知力	4	7		18 + 2	3
		精神力	13	7		27	4

技能	Lv.	技能	Lv.
ファイター	11		
レンジャー	9		
エンハンサー	7		
アルケミスト	2		

戦闘特技				言語	会話	読文
タフネス	2122	p	p	交易共通語	○	○
治癒適性	2122	p	p	ドワーフ語	○	○
不屈	2123	p	p	汎用蛮族語	○	○
ポーションマスター	2123	p	p	魔動機文明語	○	○
防具習熟A/金属鎧	IB31	p	p			
なぎ払い	IB38	p	p			
頑強	IB29	p	p			
全力攻撃	IB36	p	p			
防具習熟S/金属鎧	IB32	p	p			
防具の達人	IB32	p	p			
		p	p			

[illegible]

技能	技能	基本	基本	基本追加	鎧と盾	必要 ランク	筋力	回避力	防護点
	レベル	命中力	回避力	ダメージ					
ファイター	11	16	13	17	鎧 マナタイト加工のインペリアル		33	-1	15
グラップラー	0				盾 グレートウォール		20	(-1)	(3)
フェンサー	0				その他補正(防具習熟/回避行動 etc)				3
シューター	0				回避技能 ファイター		合計値	12	19

[illegible]

制限移動	通常移動	全力移動	回避	防護点	HP	魔法技能	Lv.	魔力	魔法技能	Lv.	魔力
3 _m	22 _m	66 _m	2d+ 12	19	87						
魔物知識/弱点			先制力		生命抵抗	精神抵抗	MP				
2d+ 0/×			2d+ 0		2d+ 14	2d+ 16	29				

装備品		説明
頭	警戒の瞳	不意討ち時の危険感知判定+2
耳	ディスプレイサー・ガジェット	任意の箇所の装飾品を1つ装備させられる
顔	紅蓮の頬当て	1日に1度、炎属性で発生させる物理ダメージ+3点
首	ポーションインジェクター	仕込んだポーションを補助動作で自分に使用できる
背中	英雄の野伏マント	ブレス、息吹で受けるダメージ-2
右手	巧みの指輪	器用度+1、壊すと+13
腰	ブラックベルト	防護点+1
足	韋駄天ブーツ	全力で厚底
その他	信念のリング	精神抵抗+1

装備品		説明
	リトルウィング	落下ダメージを-20
左手	叡智の腕輪	知力+2、壊すと+14
	アルケミーキット	賦術の行使に使用

その他メモ	自動失敗 チェック
レンドリフト地方、レンドリフト帝国出身。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ⑤
弱肉強食を是とし、蛮族と人族が混在する都市で鍛冶職人の息子として生まれた。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ⑩
生きるために力を必要とする社会で育ったため、父親からは蛮族兵士の武器職人としての立場が得られるようその技術を叩き込まれている。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ⑮
だが成人した後もその技術は父からは認めてもらえず、やがて1人で考え込むようになる。武器とは、剣とは。と	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ⑳
そこで、この世に初めて生まれた剣である始まりの剣を求め、彼は初めてレンドリフト地方から飛び出した。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ㉕
人畜混合都市に住んでいたため、人族に嫌悪感を抱いておらず、また自分の種族がどう思われるかは十分に理解している。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ㉟
なので旅先では仮面でダークドワフの象徴となる大きな黒目を隠し、自らの種族を偽って活動している。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ㊳
一応ダークドワフとしても大柄な方だが、それでも足りないと思い厚底のブーツで身長をごまかしている。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ㊵
帝都レンでは鍛冶屋の店名であるダークネスと呼ばれていた。これは個を重んじない種の蛮族からは屋号で覚えられる事が多いため。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ㊿
『湖の忘れ形見』	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ㊿

[illegible][illegible]